

平成28年度使用中学校用教科用図書 採択理由書

白川村教育委員会

教科	種目	発行者	採 択 理 由
国語	国語	光村	<p>□各学年の最後に「話すこと・聞くこと」「書くこと」領域の指導事項を総合的に指導する言語活動がある。題材として、国語学習を通して学んだことを取り上げ、これまでの学習が生きるよう、よく工夫されている。校内放送や職場体験での電話のやり取りなど、実生活の様々な場面における言語活動を取り上げ、生きて働く力に結び付くよう、よく工夫されている。また、地域にかかわる題材も多くの単元で例示されている。</p> <p>□学習の目標、身に付ける言葉の力が明示され、学習を進める際のポイントがつかめるよう、よく配慮されている。また、表現活動では「生活に生かす」学習を位置付け、発展的な学習の方向を示し、家庭学習でも自ら学べるようによく工夫されている。</p> <p>□案内文や鑑賞文、報告文の表現活動が設定され、地域とかかわる学習活動がよく工夫されているとともに、身に付けた力が地域社会で生きて働くようによく配慮されており、飛騨地区の実情に適している。</p>
	書写	光村	<p>□第1学年の学習前に「基礎編」として、小学校までの学習事項のまとめができるようになっており、小学校から中学校へのつながりがよく配慮されている。また、楷書から行書、そして文字の効果的な使用まで発展的な学習ができるよう、よく配慮されている。</p> <p>□巻末の「資料編」に、まとめて言語活動例を掲載し、活用しやすいようによく配慮されている。また、日常の書式や活用のヒントなどが項目ごとにまとめるとともに、要点を朱書きで補足したり表にまとめたりして分かりやすいようによく配慮されている。</p> <p>□「読書環境を豊かにする」では、本の紹介やポップ、「学校行事を盛り上げる」では、卒業式の黒板、プロフィールカードなど、学校生活や社会生活に生かせる教材が34種類あり、意欲的に学習できるようによく配慮されている。</p>
社会	地理	東書	<p>□グラフ化やレポートの作り方、展示発表の仕方、まとめや意見交流を行う活動などを紹介し、様々な表現活動を通して知識・技能が活用できるよう、よく工夫された構成になっている。</p> <p>□「学習課題」に対応し、見開きの学習内容について、振り返りや、まとめを行う「確認」を設け、見通しをもって学習ができるよう構成されている。また、「確認」では、共通点や相違点に着目したり、キーワードを使ったり、短い文章に要約したり、段階的な言語活動で思考力・判断力・表現力を育むことができるよう、よく工夫された構成になっている。</p> <p>□各節ごとに「ためしてみよう」のコーナーを設け、地図やグラフの活用の仕方や活動の仕方を示し、主体的に学習に取り組むことができるよう、よく工夫されている。さらに学習のまとめにおいては、追究テーマに基づいて既習内容を図式化してまとめたり、同じテーマを基に身近な地域でも調査活動ができるようにしたりして、学びの実感を味わうことができるよう、よく工夫された内容になっている。</p>
	歴史	東書	<p>□各時代の歴史的事象の特徴について、資料から分かった事実や、各時代で学習した内容を基にして、自分の言葉で説明することができるよう、よく工夫された問題が多様に設定されている。</p> <p>□見開き2ページを一単位時間として学習課題を設定し、資料や本文から読み取ったことを基に、学習課題に対するまとめを自分の言葉で記述できるように、視点を具体的に示すなど、問題解決的な学習を進めることができるよう、よく工夫された構成になっている。</p> <p>□各章の導入のページには、小学校で学習したことを想起しながら、各種資料をつなげて考えることで、これから学習する時代の特徴をイメージする学習方法が取り入れられており、資料を基に考えて課題解決していく学び方ができるよう、よく工夫されている。</p>

社会	公民	東書	<p>□「公民にチャレンジ」「公民にアクセス」「やってみよう」コーナーによって、時事問題などに関心をもって学習に取り組み、話し合い活動が充実するように、よく工夫された内容になっている。</p> <p>□「公民にチャレンジ」「ためしてみよう」「やってみよう」「確認」コーナーによって、身近な社会的事象や問題を取り上げて考えたり、話し合ったりする活動が進められるようによく工夫されている。</p> <p>□暮らしと経済の学習では、「えんぴつマーク」によって、グラフや新聞記事、図表などの読み取りを補完する説明が掲載されており、主体的に学習することができるよう、よく配慮されている。</p>
	地図	帝国	<p>□地図を活用して言語活動を仕組んだり、主体的に地図を読み取ったりすることができるように「やってみよう」「地図の見る目」といったコーナーを設け、具体的な問題や視点が示されている。</p> <p>□世界の各州の大きな鳥瞰図や、大陸から日本を見渡す地図を活用して、空間的・立体的なイメージを膨らませたり、同緯度同経度同縮尺の日本を利用して日本の位置や大きさと比較したりすることができるような工夫がされている。</p> <p>□飛騨地区の位置や様子について関心をもってとらえることができるように、地図中の「本州中央部」や「中部地方の自然・産業・くらし」では、飛騨地区が地図の中央に位置付いたり、飛騨の具体的な地域が取り上げられたりしている。</p>
数学	数学	大日本	<p>□目次のページに既習事項とのつながりを明記したり、側注に「思い出そう」を設けたりして、関連する既習内容を想起させるよう、学習内容の系統性によく配慮した構成になっている。また、単元の導入部分は既習事項との関連を重視して丁寧に扱っており、全ての単元に「利用」の節を設けて、発展的な学習ができるよう充実した構成になっている。</p> <p>□説明し合う活動や、「伝えよう」という場面が多く設定しており、数や式、表などを使って説明し、思考力や表現力の育成を図る工夫がされている。また、ノートづくり方、研究の仕方やレポートの書き方の例を挙げて、言語活動の充実が図られるよう、よく工夫されている。</p> <p>□どの学年にも、本文の学習内容にかかわった発展的な問題が配列されており、生徒の興味・関心に応じて発展的な学習内容に取り組むことができるように配慮されている。</p> <p>□前学年までに学習した内容を、考えるポイントのところで示しており、思考の手助けになっている。また、問題の解答例も丁寧に説明されていて理解しやすく、大切な見方や考え方を身に付けられるよう配慮されている。</p>
理科	理科	東書	<p>□「これまでに学んだこと」「思い出そう」を設け、既習内容との関連を図っている。また、他教科の学習との関連を図る「(教科名)で学んだこと」や、生活との関連を図る「科学でGO!」が設けられている。これらの位置付けによって、系統性を明確にし、基礎的・基本的な知識及び技能の定着や科学的思考力・表現力が育成されるように配慮されている。</p> <p>□単元末には、まとめや基礎的な問題とともに、「学びを活かして考えよう」「確かめと応用(活用編)」が位置付いており、科学的な知識や概念を活用して言語活動に取り組むことができるように配慮されている。また、各章の導入時と終了時に「before-after」問題があり、自分の考え方の変容に気付けるようになっている。</p> <p>□問題ごとに課題解決の過程が示されていたり、各学年に「レポートの書き方」が位置付いていたり、学習の進め方が身に付くように工夫されている。また、既習内容を使って説明する箇所が配置され、思考を深める構成がよく工夫されている。さらに、単元末問題や章末問題など、既習内容が図入りで載せてあり、家庭学習で活用できるよう配慮されている。</p> <p>□県内の資料が複数かつ有効に扱われている。また、文字、図、写真などが鮮明であり、必要に応じて拡大して見やすくなっている。さらに、1年生のフォントが大きいことで小学校と差をなくすようにしてあり、読みやすく、見やすいようによく配慮されている。各学年の巻末には付録があり、学習活動で活用できるようによく工夫されている。</p>

音楽	一般	教芸	<input type="checkbox"/> 一題材の中で付けたい力を明確にし、表現や鑑賞、創作と関連させ幅広い音楽活動が仕組めるよう配慮されている。また、学年内、学年間において系統的・発展的なつながりをもった構成・配列となっている。 <input type="checkbox"/> 生徒の発達段階等を踏まえ、速度の違いに着目して「こんな速度で歌いたい」という願いを生み出し、思いや願いをもって主体的に問題解決的な取り組みができるよう、よく配慮されている。 <input type="checkbox"/> 創作の活動が各学年に位置付き、意図をもたせながら試行錯誤する学習を大切にするよう配慮されている。このことは、飛騨の「ふしづくり」とも関連させた学習へと発展させることができる内容であるととらえる。
	器楽	教芸	<input type="checkbox"/> 付けたい力を明確にし、表現や鑑賞、創作と関連させ幅広い音楽活動が仕組めるよう配慮してある。また、楽器の演奏にかかわる基礎的な能力を身に付け、活用しながら学習できるよう、系統的・発展的な構成配列となっている。 <input type="checkbox"/> 生徒の発達段階を踏まえ、自ら課題を見付け、課題の解決に向けて繰り返し試して演奏などを行う活動を位置付け、主体的な問題解決活動を行うことができるよう、よく配慮されている。 <input type="checkbox"/> 器楽と創作を結び付け、「こんな曲にしたい」という願いや思いを大切に活動を重視し、意図をもたせながら試行錯誤して課題解決に取り組む学習を大切に行うことができるよう配慮されている。
美術	美術	日文	<input type="checkbox"/> 1学年の最初は基礎学習から始め、2・3年下では、「社会・自然・環境」へ視線を向ける題材へと、指導のねらいや発達段階によく配慮された構成・配列となっている。 <input type="checkbox"/> 参考となる作家や生徒の作品が大変多く掲載され、作者の言葉や作品のよさについてのコメントもほとんどの作品に付けられている。また、題材ごとに学習の手がかりとなる内容が「POINT」として示され、生徒が体験的に多様な表現を学び取るためによく工夫されている。 <input type="checkbox"/> 鑑賞用の折り込み見開きに、和紙に印刷した原寸大の浮世絵作品が掲載されていたり、各題材の作家作品や生徒作品が大きく掲載されていたりして、生徒が興味・関心をもって学習に向かえるよう、よく配慮されている。 <input type="checkbox"/> すべての題材において、ページの最初に、表現題材は4つの観点から焦点化された「学びのねらい」が、分かりやすい文体や読みやすい大きさの文字で示され、生徒が目的意識や見通しをもって、主体的に学習できるよう配慮されている。
保健体育	保健体育	東書	<input type="checkbox"/> 「やってみよう」「考えてみよう」などのマークを使い、生徒一人一人が自分の考えをもち、意図的に話し合い活動ができるよう、よく工夫された構成になっている。 <input type="checkbox"/> 体験的な学習や問題解決的な学習を進めるために、豊富な量の「実習資料」が掲載され、手順が分かりやすく示されている。また、1単位時間の構成が、導入での問題提起から終末の活用まで、調べたり話し合ったりすることで課題を主体的に解決していける構成となっている。 <input type="checkbox"/> 導入の「やってみよう」では、小学校での既習内容や資料、体験活動が位置付けられており、学習内容への興味・関心が高められるよう、よく工夫されている。 <input type="checkbox"/> 「今日の学習」では、具体的な事例や状況が挙げられており、分かりやすい課題提示がなされている。また、「キーワード」の提示、「やってみよう」「考えてみよう」「生かそう」などによって、学習の進め方や学び方が明確に示され、主体的な学習ができるよう配慮されている。

技術・家庭	技術分野	東書	<p>□問題解決の基本となる、計画・実行・評価・改善（PDCAサイクル）の流れを、製作・制作・育成の場面でも統一的に示し、実践的・体験的な学習活動をしながら問題解決能力が育成できるようによく配慮された内容となっている。</p> <p>□実習例には、生徒の工夫である「私の工夫」コーナーを、学習のまとめには、「生活に生かそう」コーナーを設け、学習したことを自分自身の生活に生かしたり、さらに発展的な個人追究につなげたりできるようによく工夫されている。</p> <p>□安全や衛生の留意点には、「安全マーク」「衛生マーク」を付けて、生徒の注意を喚起し、安全・安心な実習が確実に行われるようにしている。情報社会のルールやマナーについて、フィルタリングなどの情報セキュリティ技術やインターネットなどの情報技術のプラス面、マイナス面を考えさせるなど、内容がよく工夫されている。</p> <p>□各題材の中で学習内容に関連した職業に就いている30人の話を「技術の匠」コーナーとして位置付け、ものづくりへの興味・関心を高めるとともに、勤労観、職業観の育成に資するよう、よく工夫された内容となっている。</p>
	家庭分野	東書	<p>□「家庭分野のガイダンス」を学習の冒頭に設け、小学校の学習を振り返るとともに3年間の見通しをもたせている。単位時間の流れを「目標→始めの活動→まとめの活動」として見開きで構成し、「まとめの活動」や「生活に生かそう」を設けて、自ら問題を見付け主体的に解決し、学習したことを生活に生かしていく力が身に付くようによく配慮されている。</p> <p>□実物大の写真や、活動の様子などの写真資料を多く用いたり、基礎的な技能を「基礎技能のページ」としてまとめて掲載したり、学習意欲引き出すように工夫されている。また、「生活の課題と実践」を設けて、自ら課題を見だし、既習事項を活用して課題の解決を目指して実践する活動や、まとめ方や発表の仕方を例示して、言語活動の充実にも配慮している。</p> <p>□安全、衛生、防災マークを付して、注意事項を分かりやすく示し、実践的・体験的な学習活動に対する安全によく配慮されている。</p> <p>□「持続可能な社会を目指して」、「環境マーク」や「消費者マーク」を設け、現代社会の課題に関心を持ち、持続可能な社会を目指す工夫がよくされている。先人たちの知恵が紹介され、伝統・文化の大切さが伝わりやすい。また、職業観・勤労観を育成するため『プロに聞く!』を設け、実際に働いている方からのメッセージを紹介している。</p>
英語	英語	東書	<p>□各単元が、Unit（文法と語彙の習得）→Daily Scene（コミュニケーション活動による活用）→Presentation（自己表現活動による発信）の3部で構成され、段階的・発展的に学習できるよう、よく工夫された構成になっている。Daily Sceneでは、「電話での会話」「道案内」「手紙・メール」などを各学年での言語材料や発達段階等を考慮し、徐々に難易度を上げながら3年間を通して繰り返し学習できるよう系統性・発展性のある構成となっている。</p> <p>□各学期末に位置付けられているPresentationでは、「将来の夢」「町紹介」「中学校生活」などについてのスピーチ原稿を作ること、自己表現活動を行い、発信力を確かめることができるよう、よく工夫されている。</p> <p>□各基本文に対する練習問題を、基本練習と技能別練習で必ず取り扱い、更に単元末の練習問題、「まとめと練習」で扱うことで、確実な定着を図ることができるよう、配慮した配列になっている。</p> <p>□各単元冒頭の「学習の目標」を受けて、単元末のActivityで言語活動を通してその単元における目標の到達度を確認することができるよう、よく工夫された単元構成になっている。</p>